



ながす議会だより



潮がい

元気満開



金魚の館

令和8年第1回定例会

当初予算、条例等、補正予算

一般質問 8人が登壇し町政を問う

委員会活動

町民のひろば

②～⑧

⑨～⑰

⑱～⑲

⑳



長洲町議会ホームページ

過去の議会だよりや会議録を
ご覧いただけます。

支える過去最大予算

会計総額 84億1700万円



子育て支援をサポート!

新規 こどもの居場所づくり推進事業

六栄小学校、清里小学校並びに子育て支援センターにおいて、更なる健全育成を図るため、民間ノウハウを活用した委託事業として実施する。

……3465万円



新規 保育補助者雇上強化事業

保育士の業務負担を軽減するため、保育業務補助者の雇用に必要な費用を補助し、保育人材の確保を図る。

……1269万円

新規 子育て・新婚さんマイホーム取得サポート事業

住宅(新築・中古)を取得する子育て世帯や新婚世帯を対象に、住宅ローンに対する利子の一部を補給する。

……400万円

安全・安心な住民生活をサポート!

新規 消防団格納庫更新事業

老朽化が進む消防団格納庫を更新し、防災拠点として維持管理を図る。(第3分団第8部、第9部等)……4834万円



新規 防災行政無線更新事業

平成23年に整備した庁舎内他の防災行政無線放送機器の更新事業を行う。

……5270万円

第1回定例会（3月9日～13日）は町長から提案された議案は23件で、令和8年度各会計予算（6会計）ほか、条例の制定と一部改正、補正予算等を審議し、全て原案どおり可決した。

暮らしを

令和8年度一般

学校教育の振興をサポート！

新規 学校給食費負担軽減事業

学校給食費保護者負担分について小学生は無償化、中学生は一定額の補助を行い、保護者の経済的支援を図る。

……5387万円



新規 町内小学校屋内運動場（体育館）空調設備整備事業

児童の熱中症対策及び避難所機能を強化する目的として、町内4小学校体育館内に空調設備を整備する。

……1億5056万円

農業生産基盤の整備、水産資源 漁獲向上をサポート！

新規 農地及び農業施設災害復旧事業

令和7年8月豪雨災害により、利用できなくなった農業用施設の復旧工事を行い、農業生産基盤の安定化を図る。

……3億7579万円

新規 水産資源漁獲向上推進事業

これまでの干潟保全事業に加え、新たに水産資源の漁獲向上の推進に向けた取組みに対し補助金を交付する。

……620万円



主な質疑



令和8年度一般会計

歳

出

問 (高濱議員)

健康福祉センター費の歳出予算額は1970万円に対し、歳入予算額は273万円である。赤字運営だが、どう財政健全化しているのか。

答 (福祉保健介護課長)

施設開設から四十数年経過しているが、少しでも長く維持管理しながら利用者増加のための努力を行う。

問 (林議員)

さんぎよタクシーの土曜日運行は実証事業を踏まえ、今年4月より9時～14時までの運行時間を提案されたが、16時台までの運行時間延長の要望はなかったか。

答 (まちづくり課長)

実証事業期間中にアンケート調査を行ったが、時間延長を希望する意見も数件寄せられた。

問 (岡本議員)

AED借上料と賃借料の違いは。また、なぜそれぞれ金額が違うのか。

答 (総務課長)

意味の違いはない。各課での見積りや台数等の差によって、単価の相違が出ている。

問 (福田議員)

菜切川ゴム堰2か所、揚水ポンプ制御盤1か所のそれぞれの予算の内訳と工期は。

答 (農林水産課長)

概算の工事費で上流の葛輪井堰が約1億7485万円、下流の牟田井出堰が約1億9690万円、揚水ポンプ制御盤が50万9千円。工期は、令和8年6月から令和9年の5月末まで。揚水ポンプは、令和8年の水稲稲作から利用できる。



問 (前田議員)

消火栓の設置等負担金440万円の内容は。また、防災面における周知は。

答 (危機管理対策室長)

消火栓新規設置1か所、布設替1か所、修繕3か所。消火栓ボックスを消防団が設置する際、近隣住民に知らせ、区の防災消火訓練実施で周知を図っている。

問 (福島議員)

令和7年度補正予算でフィルタリングソフト使用料が全額減額されているが、これは当初予算にあるPCウイルス対策ライセンス料に含まれているのか。

答 (学校教育課長)

減額した使用料は生徒の旧端末用であり、新年度のライセンス料は校務用PC用なので含まれていない。

問 (福永議員)

学校給食費負担軽減補助金について、町長は学校給食費の負担軽減を段階的に行うと選挙公約に掲げているが、最終的には完全無償化の実現が目的ではないのか。

答 (町長)

しっかり取組んでいく自覚はあるが、いつの段階で実現できるかは現時点で答弁できない。

問 (濱村議員)

六栄小学校校庭のケヤキの木の延命処置業務委託料について、木の状態も含めてどのような作業を予定しているのか。

答 (生涯学習課長)

土壌改良と樹勢回復作業のほかに、枯れ枝等の剪定も行う予算を計上した。樹勢も回復している。

問 (田成議員)

部活動指導者謝礼額が318万6千円計上されているが、1600円と1100円の2つの単価の違いは。

答 (生涯学習課長)

部活によっては平日地域移行が可能な部活もあり、休日単価が1600円、平日は1100円で予算化した。

問 (濱崎議員)

道路新設改良費について、用地測量調査など業務委託料が2千万円計上されているが、委託せず職員でできないのか。

答 (建設課長)

専門的な知識や専門的な機械を使用する必要があり、専門業者に委託発注を予定している。

問 (磯野議員)

農林水産業費の通信運搬費にタブレット通信料とタブレットMDM*使用料が計上されているが内容は。

答 (農林水産課長)

タブレットに農地台帳が確認できるソフトが入っている。また、MDMは常時通信接続が可能であり、現地調査でも農地の状況を確認することができる。

*MDMとは、スマホやPCなどの業務端末を社外・遠隔から一元管理し、セキュリティ対策と運用効率化を実現する仕組み

討論

反対

林議員

高齢者を支える生活支援の予算は不十分

小学校給食費は国からの交付金により無償化されるが、中学校給食費の無償化予算は計上されていない。また、就学援助世帯に対し、新たな費目を設け生活支援の予算化が必要。

きんぎょタクシーの土曜日運行時間は午後2時台までであるが、町民のニーズに十分応えられず終日運行が求められる。子ども・子育て支援に対する予算は配慮されているものの、高齢者を支える生活支援の予算は不十分である。

賛成

松井議員

町民の生活を支える取組みが幅広く盛り込まれている

中学校制服等の購入費助成、小学校の給食無償化により、子育て世帯の負担軽減が図られている。町内小学校屋内運動場空調整備により、児童が安心して活動できる環境確保につながる。消防団格納庫更新工事費や防災行政無線設備をより高性能なものへと改修する予算も計上され、災害時の初動対応に係る体制強化が図られており、町民の生活を支える取組みが幅広く盛り込まれている。

問 (栗原議員)
消防団員数は減少傾向にあると答弁されたが、消防団員報酬が前年度比233万3千円増加している理由は。
答 (危機管理対策室長)
令和8年度は消防操法大会があり、訓練回数が多くなるため、報酬額が増加した。



令和8年度特別会計・事業会計

介護保険特別会計

問 (林議員)

介護保険料の今年度予算額は、前年度予算より、1068万6千円もの増額予算だが根拠は。

答 (福祉保健介護課長)

第1段階、第4段階の低所得者層の保険料減少と、第6段階、第13段階の高所得者層の増加が見込まれるため。

国民健康保険特別会計

問 (林議員)

国民健康保険税に、「子ども・子育て支援分」が上乘せし徴収することになる。さらに、令和9年度、令和10年度も段階的に引き上げると、こども家庭庁では、説明しているが、1人当たりの年間平均支援額はいくらか。

答 (福祉保健介護課長)

令和8年度は2700円の上乗せ、令和9年度は3600円、令和10年度は4800円程度の上乗せが見込まれる。

下水道事業会計

問 (福永議員)

令和7年度、流動資産の未収金貸倒引当金が18万9千円計上され、令和8年度分として、新たに、7万4千円が計上されているが会計処理はどうなるのか。

答 (下水道課長)

令和7年度末に、不納欠損分として21件、18万9千円を処理し、令和8年度分、11件、7万4千円を不納欠損予定分として新たに計上した。

令和8年度特別会計・事業会計予算

国民健康保険特別会計	19億5670万円	
介護保険特別会計	18億6100万円	
後期高齢者医療特別会計	3億6990万円	
水道事業会計	収益的支出	2億3915万円
	資本的支出	4億4048万円
下水道事業会計	収益的支出	8億2563万円
	資本的支出	7億6412万円

討論

国民健康保険特別会計

反対

林議員

子ども・子育て支援の政策財源を国保税に上乗せ徴収することは筋違い

今年4月より、国保税に上乗せし、子ども・子育て支援分を徴収することになり、1人当たりの年間平均保険料は、約2700円増税となる。

国保税は協会けんぽや共済組合保険の被用者保険とは異なり、全額自己負担である。そもそも公的医療保険とは無関係な子育て支援の為の政策財源を、何故、国保税に上乗せ徴収するのか、筋違いであり、国庫負担で行うべきである。

賛成

田成議員

安定した国民健康保険事業の運営に期待する

新たな「子ども子育て支援金制度」を含め安定的な運営となるよう努めている。また町民の健康増進に向け、特定検診などの保健事業に取組み、受診率を高め、結果説明や保健指導を通じた保健師や管理栄養士による生活習慣病改善のアドバイスを行っており、被保険者に寄り添った取組みが医療費の適正化を進め、安定した国民健康保険事業の運営になるものと期待する。

介護保険特別会計

反対

林議員

国庫負担割合を引き上げ介護保険制度の充実をすべきだ

介護保険財政を維持するための保険料は、増加の一方であるが、65歳以上の第一号被保険者の多くは年金生活者であり生活は厳しい。介護保険サービスを利用すると、経済的負担が重くのしかかり、満足に利用できない介護難民と呼ばれる社会現象まで起きている。誰もが安心して介護保険サービスを利用できるように国庫負担割合を引き上げ、制度の充実を図るべきである。

賛成

岡本議員

予防活動の取組みにより要介護認定率は低水準で推移している

「介護予防拠点施設」で様々な予防活動に取組んできたことにより、要介護認定率は全国的にも低水準で推移し、介護給付費の抑制、介護保険料の据え置きに繋がっている。今後も高齢者が安全・安心・健康に暮らせるまちなに向けた取組みの推進と、元気で活躍できる健康長寿社会の実現を図られることを期待する。

後期高齢者医療特別会計

反対

林議員

老人保健制度にもどすべきである

1人当たりの年間平均保険料は、令和7年度と比較し、令和8年度は一挙に1万2732円の増額となる。団塊の世代がこの制度に繰り込まれ、75歳以上の高齢者を一つの制度にまとめ、高齢者人口が増える度に、加入者の負担を増加させる仕組みがもたらす弊害は重大であり、かつて制度化されていた老人保健制度に戻すべきである。

賛成

福島議員

2年ごとの保険料率の改定や「子ども・子育て支援金制度」導入を踏まえた適切なものである

保険者数や医療費が増加する中、この医療制度を将来にわたり安定的に運営していくためには、世代間における負担公平の確保、被保険者の負担能力に応じた負担、及び医療費の伸びの適正化を行うことが必要。そのような中、この予算案は2年ごとの保険料率の改定や「子ども・子育て支援金制度」導入を踏まえた適切なものである。

条 例

長洲町ふるさと納税応分型事業
所設置奨励金条例

●町内に事業所の新設等をし、返
礼品の開發・提供を行う事業者に
対して奨励金制度を創設する。

長洲町地区計画の区域内におけ
る建築物の制限に関する条例

●長洲駅南側地区は、都市計画マ
スタープランにおいて「中心拠点」
に位置付けられている。「用途地
域」の指定と「地区計画」の策定
を進めていて用途地域だけで抑制
しきれない。無秩序な開發や調和
しない施設の立地を防ぎ、法的拘
束力を持たせる。

長洲町乳児等通園支援事業の設
備及び運営に関する基準を定め
る条例

●乳児等通園支援事業の新設に伴
い、事業を実施する事業者を「認
可」するための基準である。

問 (林議員)

一般型乳幼児通園支援事業所
と余裕活用型乳幼児通園支援事業
所の2つの実施方式がある。

この新規事業の認可を受けるに
あたり、どちらの事業所が認可を
受けやすいのか。

(子育て支援課長)

●答 一般型は、新たに専任の職員
の配置が必要だが、余裕活用型は
既存の保育定員の空き定員の範囲
内で受け入れ可能なため、新たな
体制の確保が不要であり、余裕活
用型が認可を受けやすい。

長洲町特定乳児等通園支援事業
の設備及び運営に関する基準を
定める条例

●長洲町乳児等通園支援事業の設
備及び運営に関する基準を定める
条例の創設に伴い、事業者が守る
べき運営上の基準について条例で
定める。

職員等の旅費に関する条例

●本町の職員及び職員以外の者に
対して支給する旅費の取扱いを見
直すものである。

課設置条例

●効率的な組織体制を確立するた
め下水道課と水道課を統合し、上
下水道課を設置。また、町民サー
ビスを確実に維持・向上させるた
め、福祉保健介護課を福祉介護課
と健康づくり課へ分割する。

報酬及び費用弁償条例

●農業委員会委員等の報酬につい
て、報酬等審議会の答申を踏まえ
た見直しを行うもの。

長洲町税条例

●本町の軽自動車税の減免基準を
県の自動車税種別割の減免基準に
あわせ整合性を図ると共に、障が
い者の社会参加の推進に取組む。

財産の減額譲渡

●六栄保育所跡地を町の持続的な
経済活性化及び産業振興を図るた
め、減額して譲渡するもの。

譲渡する土地及び建物

減額譲渡価格
501万9千円
譲渡の相手方
株式会社 ローカル

工事請負契約

●工事名
赤田・上沖洲線道路改良
(5工区) 工事
契約金額
1億6610万円

契約の相手方

興亜建設工業株式会社

●工事名
六栄小学校東校舎解体及び
渡り廊下新設工事
契約金額
9768万円

契約の相手方

興亜建設工業株式会社

問 (福永議員)

六栄小学校東校舎解体及び渡
り廊下新設工事は、それぞれい
くらか。

また、解体と新設を一括発注で
はなく分離発注してはどうか。

(学校教育課長)

●答 解体費が約3200万円、渡
り廊下新設費は約6700万円、
計約1億円。工事発注の優先事項
として、まず学校現場行事、ス
ケジュール等への影響がないこと。
次に、コスト面も考慮し一括発注
とした。

令和7年度一般会計補正予算

2億226万円を追加し 総額98億1813万円

主な事業	橋梁長寿命化修繕事業	1680万円
	長洲港土砂処分場整備事業負担金	3000万円
	町営住宅管理事業（新山住宅）	6300万円

問 (林議員)

長洲港土砂処分場整備事業負担金として、県事業費の10分の1である3千万円を本町が負担する漁業補償額が突如として提案され、「漁協から具体的に補償額の要請があったわけではない」と答弁されたが、県は何か所の漁協と協議を行っているのか。

答 (建設課長)

現在、補償の協議中であり、個別案件であるので答弁は差し控える。

問 (田成議員)

空き家等除去事業補助金が320万円減額になっているが、この理由は。

答 (まちづくり課長)

当初12件程度を見込んでいたが、実績は6件で、その減額分である。

問 (林議員)

就学援助支給費目は、実費分を含め全部で6項目あるが、補正予算109万4千円の追加分は、新たに追加された費目によるものか。

答 (学校教育課長)

追加費目はないが、支給額は学年で変動があり、追加分は、新

入学児童生徒学用品費や、修学旅行費の対象となる児童生徒が多いため。

問 (福永議員)

75歳以上の後期高齢者の保険料が増加している。当初予算時より後期高齢者は何名増えたのか。

答 (福祉保健介護課長)

当初予算では被保険者数を3011人と見込んでいたが、今回は3149人と見込み、138人の増加である。

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計	67万円
介護保険特別会計	5900万円
後期高齢者医療特別会計	1697万円

審議結果 <<すべて原案可決>>

賛成…○ 反対…×

議案番号	事 件 名	高濱	福島	岡本	栗原	田成	林	福田	前田	磯野	濱村	福永	松井	濱崎	福本
議案第25号	令和8年度長洲町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	
議案第26号	令和8年度長洲町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第27号	令和8年度長洲町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第28号	令和8年度長洲町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

この審議結果は、賛否の分かれたもののみ掲載しています。*議長は表決に加わりません。